

救急救命講習

R3年1月 福祉系列2・3年生

1月13日(水) 福祉系列2・3年生を対象に西部消防署の方を講師に招き救急救命講習を行いました。

講習では、傷病者を救急隊に引き継ぐまでの救命処置の流れを細かく教えていただきました。胸骨圧迫やAEDの使用方法を実習用の人形を使って練習をしました。今回は新型コロナウイルス感染症予防のため心肺蘇生はエアロゾル(ウイルスなどを含む微粒子が浮遊した空気)を発生させる可能性があるため胸骨圧迫のみの対応で講習をうけました。



【生徒の感想】

- ・新型コロナウイルス感染症の対応処置で、人工呼吸がなくエアロゾル予防をして行うなど現状にあった救急処置を教えてもらい身につく授業であった。
- ・胸骨圧迫をずっと続けてするのはとても大変だった。1分間に100回以上の速さで救急隊の方が来られるまで10分くらい続けなければならないが、1分間するだけでもすごくつらかった。
- ・実際に傷病者にするのはとても怖いし勇気のいることだと思うけれど、人の命の大切さを考えて絶対に助けようと思う。
- ・AEDの置いてある場所を把握していないのでこれから気をつけて歩きたいと思った。